

ひまわり通信

78 平成 20 年 2 月 21 日

新潟市立東青山小学校

児童数 613 人

(231)9611 fax (231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

いのち輝く子ども



児童の安全確保にかかわる情報交換会

今回で 3 回目となる「児童の安全確保にかかわる情報交換会」を 2 月 6 日に実施しました。出席者は右記の方々から 33 名参加いただくことができました。毎回多くの方の参加があり、児童の安全確保にかかわる関心の高さに敬服しています。冒頭学校や PTA の取組について説明した後、地域や通学路の安全について情報交換を行いました。そこでは、忌憚のない活発な意見や建設的な意見が多数出されました。

また、浦山交番の北村さんから話の中に加わっていただき校区の状況などを話されましたし、スクールガードリーダーの酒井さんも参加され、西区の情報なども織り交ぜてお話しいただきました。大変有意義な会であったと思います。

主なご意見は下記のとおりですが、街灯が少ない地域を調査し街灯設置の要望を出すことや、白鳥団地からの横断歩道に押しボタン式信号機の設置の申請をしたらどうかなど、今後交通安全推進協議会や自治会と連携して対応に当たっていくことが確認されました。

出席者

自治会長 学校評議員
PTA 役員 浦山交番
子どもセーフティスタッフ
スクールガードリーダー

安全マップに「公園で不審な人を見かける」とあり、どういう人が調べたら地域に住んでいる方であった。本人と話したことがあるが、危険な行動をとることはないようだ。警察の方でも該当者を特定している。何回か話をしたことがあり、顔をつないでいる。毎回「街灯が少ない」などの話が出ている。具体化する必要があり、そのためにも予算化しなければならない。一つでも減らすことを目標にしなければならない。要望書を出すなどして改善していく方向へ行かなければならない。

ガードの下には 2 箇所ミラー板を付けた。蛍光灯を水銀灯に変えた。たぬ吉の所は U 字溝に変えるなどの対応をした。蛍光灯を水銀灯に変えるだけでも効果がある。5 月 31 日までに要望書を出すよ。

暗いところがあるということは犯罪の危険性がある。誰が音頭をとってまとめていくか。

地域でよく調査し、危険と感じたら具体的に提案していくことが大切である。

【トピックス】

二月の寒い朝、一年生が「校長先生、これあげると、手袋の中にきらりと光るもの差し出しました。何かと思ったら、落ち葉が挟まれていた氷でした。通学路上で見つけたものでしょうか、大事そうにもって来たものでした。落ち葉が挟まった氷もきれいでしたが、美しいものに感動して持ってきた子ども心もきれいなものでした。」

町内が街灯を維持管理していくことになる。自治会の方で具体的に動かなければ、話が進展しない。

市道については市へ要望するなど、管理箇所によって要請の仕方が変わる。

中沢石油の交差点では、朝車が歩道まで入ってきて児童が横断するのに支障がある。ジャスコの信号機で調整はできないのだろうか。

通学路ゾーンに車が入ってくるが、どうも地域に住んでいる方がほとんどのようだ。

通学路ゾーンは、時間規制をかけて進入禁止の処置をする方向となっている。

青山新町からジャスコの方に向かう交差点は狭くて危険である。保護者が街頭指導する回数を増やしたらどうか。事故が起きてからでは遅い。

確実に一時停止をするようパンフレットを作成して配布することも考えられる。

PTA なり、自治会の方で街頭指導する必要がある。保護者だけでなく自治会へも働き掛けてはどうか。

保護者の街頭指導の回数増加については、PTA で検討する。

通学路の変更についても検討する必要がある。



不審者侵入対応避難訓練

不審者が校内に侵入して来た場合、職員は不審者に対してどのように対応するのか、児童にどのようにして危険から身を守らせるのかについて、訓練を行いました。予め不審者と綿密な打ち合わせをして実施したのですが、いざ本番となると、毎回想定外のことが起きるようです。しかしながら、毎年の訓練の成果でしょうか通報があったからの職員の動きは機敏なものがあり、素早く不審者を教室内に閉じこめることができたようです。



< 不審者に対応する職員 >

今回は、2年生の教室に侵入してきたことを想定して行いました。担任は、児童に危害を加える恐れがあると判断して児童を外に避難させた後、不審者を教室外へ出さないようにドアを閉めました。また、不審者侵入を知った隣の教室の教諭が児童を通して教務室へ知らせるとともに児童を避難させ、直後に隣の担任の応援に行くようにしました。その間、不審者侵入を知った男性職員がサスマタを持って現場へ駆けつけ、協力して不審者をおさえたところで訓練が終了しました。

全体指導の中で、全校児童は不審者侵入の一部始終を VTR で確認し、職員が命を掛けて不審者に対応しているところを感じてもらいました。西警察の職員からは、いかのおすしといった身を守るための基本的な事柄について丁寧に指導をいただきました。また、すぐに VTR を見せたことも効果があったという話もいただきました。不審者役の方からは「指導用の三角定規などは効果があった」「竹馬やすす払い用竹棒なども使えるのではないかな」という感想が寄せられました。今後に活かしていきたいと考えています。

